

目的：移動躊躇層と共に移動サービスを再構築し移動需要を喚起

- これまでの実証実験結果をもとに「一括サポート手配」「ユニバーサル地図/ナビ」をブラッシュアップし、障がいや高齢など、何らかの理由により移動をためらう方々(移動躊躇層)の自律的な移動を実現させ、行動変容を促し、観光分野を含めた新たな移動需要の喚起を図る。

事業内容：交通/宿泊/観光/徒歩をシームレスに繋ぐ移動サービス

【一括サポート手配】

- 一括サポート手配の対象を「旭川市内」から「旭川市内⇄全国のANA就航地⇄都内一部エリア」に拡大した。
- 以下とシステム接続を行い、事前の介助手配を可能にした。
 - 航空連携：自社システムとAPI接続
(ANA国内線就航地：一部コードシェア便も含む)
 - 鉄道連携：日立製作所が提供する駅員向けシステムとAPI接続
(羽田空港T1/T2駅発→京急線内／成田空港駅発→京成線内)
 - 観光地ガイドの手配とのリンク連携(旭山動物園内 観光ガイド)
 - 宿泊連携：宿泊施設のサイトコントローラである手間いらずとAPI接続し、全国約100の宿泊施設が手配可能に。

【ユニバーサル地図/ナビ】

- 視覚障がい者向けサポートツール(Ashirase)への導線を追加
- 地元団体が保持する旅先で楽しめる情報(飲食店等)を追加
- 観光フリーパスなど、エンドコンテンツへの誘客につながる情報を追加

効果

- 課題：広域MaaSとしてサービスを拡大していくために、導入自治体/事業者を指数関数的に増やす必要がある。しかしながら、各自治体との契約調整だけで概ね2か月以上の期間を要するように、1自治体/事業者あたりに多くの時間と労力を費やすこととなっている。
- 効果：【一括サポート手配】手配対象を航空・鉄道・宿泊に拡大
【ユニバーサル地図/ナビ】新たに4エリア導入完了(右上(2)参照)
- 障がい者だけでなく、シニア、子育て、大荷物を持った方にも拡大

【実施エリア】

(1)一括サポート手配

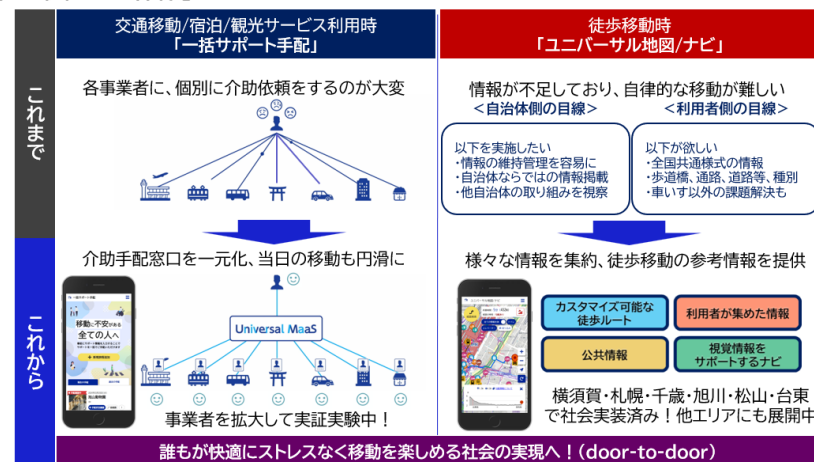
- 旭川市周辺観光地
⇄(旭川中央交通/旭川電気軌道/道北バス)
⇄旭川空港⇄(ANA便)⇄羽田空港
⇄羽田T1/T2駅⇄(京急線)⇄京急線内の各駅
- ANA国内線全線(一部コードシェア便を含む)
- 羽田T1/T2駅⇄(京急線)⇄京急線内の各駅
- 成田空港⇄(京成線)⇄京成線内の各駅

※一般公開 実証実験対象の交通事業者：旭川電気軌道、道北バス、旭川中央交通、ANA、京急電鉄、京成電鉄(上記以外は昨年度までの課題解決を個別に実施)

(2)ユニバーサル地図/ナビ

- 横須賀＝導入済み(車いす街歩きを実施)
- 札幌＝導入済み(普及活動を実施[一括サポート議論も実施])
- 千歳＝導入完了：福祉観光タクシー連携、プロモーション
- 松山＝導入完了：特別支援学校の修学旅行向け、防災情報
- 旭川＝導入完了：観光客向け
(地元のバリアフリー関連団体と共に作成)
- 台東＝導入完了：大きな荷物を持った方々向け
- 渋谷＝実証実験中：子育て層向け(オープンデータ活用)
- 太宰府＝実証実験中：観光客向け

【本事業の取組の全体像】



【画面イメージ】

(1)一括サポート手配



(2)ユニバーサル地図/ナビ



【実証実験の様子】

(1)一括サポート手配で飛行機に搭乗する車いすユーザー



(2)ユニバーサル地図/ナビで徒歩経路を確認する高齢者

